学校番号	1006

令和２年度　美術科

教科	美術	科目	構成	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒間でお互いの作品を鑑賞し合い、話し合えるようにする。また、作品を鑑賞する感性を引き出せるように指導します。

2　学習の到達目標

- 造形的な創造活動の基本となる諸要素の理解を深める。
- 完成や造型感覚と創造的な構成の能力を高める。
- 作品の制作のプロセスを学び、展開能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	講義によって知識を学び、その後の実制作を通して実体験として身に着ける	・ 個々の生徒が本来持っている感性を生かした作品を作るように、適正な指導、助言につとめる。	・ 実技指導を、制作や自己表現に自信を持ち、興味を持たせる。	・ 課題を進めながら、色や形の持つ魅力を理解し、作品を制作する喜びを味わう。
評価方法	鑑賞レポート	・ 観察（取組状況、制作態度） ・ 提出作品	・ 観察（取組状況、制作態度） 提出作品	レポート(作品スケッチ、文章)
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学	単	学習内容	主な評価の観点	単元(題材)の評価規準	評価方法

			a:関心・意欲・態度	b思考・判断・表現	c技能	d知識・理解		
	オリエンテーション	・　１年間の授業の進め方の説明。 美術系の進路について。	○				a: 造形に対する興味をもち、自分の進路について考えていく姿勢があるか。	・　受講態度
	描写①	※鉛筆を使った単品モチーフの描写		○	○		b:構成力、観察力、表現力 c:対象を観察する態度。	
	描写②	※鉛筆を使った複数モチーフの描写		○	○		b:構成力、観察力、表現力 c: 対象を観察する態度。	観察（取組状況、制作態度） 提出作品
	描写③	※材質感の違ったモチーフの描写		○	○		b:構成力、観察力、表現力 c: 対象を観察する態度。	観察（取組状況、制作態度） 提出作品
	レポート	※完成作品鑑賞				○	d: 理解力と鑑賞力 描写表現に対する意欲、興味を持っているか。	観察（取組状況、制作態度） 提出作品
	夏休みの課題	高校展鑑賞レポート	○				a: 理解力と鑑賞力 芸術に対する意欲、興味を持っているか。	鑑賞レポート
	色彩構成の基礎知識を学ぶ	○　色彩構成① ※　幾何平面図形を使った平面構成	○		○		a:観察（取組状況、制作態度） c:提出作品	積極的に新しい視点を探しているか。

	具象形態の平面構成	※ ○　色彩構成② ※　※具象形態を使った平面構成	○		○		a:観察（取組状況、制作態度） c:提出作品	色彩構成の制作プロセスが理解され、展開されているか。 イメージ表現力
	自己・相互評価	○　レポート				○	d:レポート（作品スケッチ、文章）	課題の目的、目標を理解し、制作に取り組むことができたか。 自己・相互評価。
	幾何立体を使って立体構成の基礎を学ぶ	○　立体構成① ※　立体構成の基礎。				○	d:立体のもつ量感について理解するようつとめたか。	観察（取組状況、制作態度） 提出作品
	素材の違うものを組み合わせての立体構成。	○　立体構成② ※　立体構成応用		○	○		b:素材の特徴を生かした構成ができたか。 c:表現技法に工夫できたか。	観察（取組状況、制作態度、応用力） 提出作品

	一年間をとおしての自己評価	○　レポート				○	d:１年間の勉強を通して造形に関する基礎知識の習得と制作･展開する姿勢ができたかどうか。	レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。